

『生命(いのち)に学び 夢を叶える』

東京都立瑞穂農芸高等学校全日制課程のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

令和2年4月1日に着任しました、吉野 剛文です。よろしくお願いします。

本校は、狭山丘陵の西端に位置する自然環境豊かな学校です。歴史を紐解けば、昭和24年に東京都立農林高等学校定時制課程瑞穂分校として開校し、今年度で創立72年目を迎えました。この瑞穂町に開校以来、多くの卒業生を輩出し、官公庁をはじめ西多摩地域の企業で活躍されています。また、西多摩地域唯一の農業科と家庭科の専門的な知識・技術を学べる専門高校であり、『生命(いのち)に学ぶ学校』を特徴にしています。



校長 吉野 剛文

全日制課程では、農業に関する学科として園芸科学科、畜産科学科、食品科を、家庭に関する学科として生活デザイン科を設置しており、すべての学科が生命にかかわりながら学習に取り組んでいます。

校訓の「至誠」「勤勉」「創造」に基づき、「生命(いのち)に学び 夢を叶える」としての特徴を発揮し、農業科教育と家庭科教育を通して、「わかる(理解)」「できる(習得)」「つかう(活用)」のスリーステップで、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、豊かな心をもつ自立した社会人を育成する学校を目指しています。また、出口である進路指導は、生徒の希望する進路実現に向けて意図的・計画的な3年間のキャリア教育を行い、大学・専門学校への進学や企業への就職など、幅広い進路希望に対応しています。

近年、食の安全・安心への関心が高まっています。

農業科は、野菜・果樹・酪農・養豚・養鶏・食品加工・食品流通といった生産から加工、流通までの第6次産業化にかかわる内容について学習しています。

家庭科(生活デザイン科)は、服飾・食物・調理・保育・福祉といった私たちが健康で充実した家庭・家族生活を送るために必要な学習をすることができます。

入学した皆さんが、安心して学校生活を送り、3年間で自分の可能性を大きく伸長するとともに、高い目標に向けた進路実現ができる学校となるべく、教職員一同きめ細かな指導を行ってまいります。

中学生の皆さん、瑞穂農芸高校全日制課程にぜひお越しください。皆さんも本校で新しい自分を発見して、『夢』を叶えてみませんか。